

■日時 平成30年8月16日(木) ■天候 晴れ

飛鳥未来高等学校 札幌 通信制 対 天理高等学校

■球場 江戸川区球場 第3試合 2回戦

■試合時間 1時間55分 ■備考 6回コールド

■審判 球審:渡辺 塁審:濱野 菊池 鈴木(優)

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6								計	安	失
天理	近畿・奈良	0	1	4	0	1	4								10	6	0
飛鳥未来札幌・通	北海道	0	0	0	0	0	0								0	0	2

天理		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	3	4	5	6				
1	遊		片山 幸輔	3	0	0	2	四球	一ゴ	死球			遊ゴ	左飛				
2	右	中	平野 雄大	4	0	2	4	二ゴ	投ゴ	四球			投安	中2				
3	中		窪田 正喜	2	1	0	0	四球		四球	中飛		四球	二ゴ				
3		右	椿井 友哉	0	0	0	0											
4	左		森口 信宏	2	1	0	0	四球		四球		中直	左飛					
5	三	投	岡田 民生	3	2	2	0	三邪		二安		中安		四球				
6	一		浅見 紫歌	3	1	0	1		中飛	左犠			三ゴ	三選				
7	二		西川 道男	2	2	0	0		四球	四球		投ゴ		捕邪				
7		三	清水 勇人	0	0	0	0											
8	投		堀部 陸	3	1	1	1		四球	遊飛			遊飛	左安				
8		二	高柳 枝理	0	0	0	0											
9	捕		原田 成人	2	2	1	0		四球	四球			三失	中安				
合計				24	10	6	8	残塁:11 併殺:0										
				備考														

■バッテリー

投手
堀部 陸
岡田 民生

捕手
原田 成人

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
堀部 陸	5	17	0	3	2	0
岡田 民生	1	3	0	1	0	0

飛鳥未来札幌・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6					
1	左	投	佐々木 孝啓	3	0	0	0	捕邪		投ゴ			三ゴ					
2	二		小林 優友	3	0	0	0	遊ゴ			三振		一ゴ					
3	捕		佐々木 一輝	2	0	0	0	二ゴ			三ゴ							
4	投	左	須藤 滉一	1	0	0	0		四球		三振							
5	一		宮崎 駿也	2	0	0	0		一飛				三ゴ					
6	遊		木下 将馬	2	0	0	0		二飛				遊ゴ					
7	三		加賀美 諒	1	0	0	0		三ゴ				四球					
8	中		橘 寛太	2	0	0	0			三振			三ゴ					
9	右		斉藤 大樹	2	0	0	0			右飛				三振				
合計				18	0	0	0	残塁:2 併殺:0										
				備考														

■バッテリー

投手
須藤 滉一
佐々木 孝啓

捕手
佐々木 一輝

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
須藤 滉一	2 1/3	16	1	0	9	5
佐々木 孝啓	3 2/3	23	5	0	5	4

■戦評

2回戦江戸川球場の第3試合は、6年ぶり2回目出場の北海道代表・飛鳥未来高校・札幌・通信制と昨年の決勝戦と同一カードとなった一回戦を完勝した天理高校の対戦となった。2回天理は3つの四球で満塁の好機を作ると1番片山の内野ゴロの間に1点を先制する。その裏飛鳥未来・札幌は先頭の4番須藤が四球により出塁するも後続が抑えられ走者を進めることさえできない。続く3回天理は2つの四球と内野安打により満塁の好機を作ると犠飛により1点を追加する。さらにこの回途中から救援した飛鳥未来・札幌2番手佐々木(一)から2つの押出四死球を選ぶなど隙のない攻撃でこの回計4点を追加する。5回にも1点を追加した天理は6回8番堀部の適時安打と2番平野の2点適時二塁打などにより4点を奪い試合を決めた。一矢報いたい飛鳥未来・札幌であったが天理投手陣の前に無安打と完全に抑え込まれてしまった。投打に相手を圧倒し盤石の試合運びを見せた天理が6回コールド10-0で勝利し、ベスト8に進出した。一方敗れた飛鳥未来・札幌は投手陣が計14四死球と制球を乱し本来の力を発揮できなかったことが何とも悔やまれる結果となった。